

被覆線メーカーのトワロン(本社・大阪府堺市、社長・藤本和隆氏)は今月から、被覆線からなる水引細工を「ずたま」の販売を開始している。京都の伝統工芸を手掛ける「やまひで」に縁起が良いとして、コンペの景品では月産30個を目標に販売している。

同社は一般消費者向け製品の開発に取り組んでおり、ご祝儀袋や贈答品などにかける飾り紐の水引細工を、これまで想定されなかった場に持ち出せないかと考え、京都の老舗「やまひで」とタッグを組んだ。足元

トワロンが発売

伝統工芸と被覆線でコラボ

とコラボし、専用に製作した柔らかな被覆線で水引細工を作成。雨や朝露にも強いことが最大の特徴だ。

また、水引細工の梅結びには、「固く結ばれた絆」・「魔除け」・「運命向上」の意味があり、勝負事



カラーバリエーションは豊富
①、女子プロ選手も使用



5本の被覆線を束ね結ぶことから、カラーバリエーションは幅広い。先月開催された女子プロゴルフツアーでも出場選手が「水弾」を使用。ラインアップの多さや縁起の良いお守り感覚が好評を得たという。

藤本社長は「細工しやすい被覆線を開発し、職人が一つひとつ手作りで作成している。色の組み合わせでコーポレートカラーを表現できるなど、既に企業グッズとしての引き合いがきている」とし「伝統工芸と被覆線のどちらもの認知度向上に努めていきたい」と話す。価格は一つ2500円。同社ECサイトから購入できる。

